

令和 7年度宮崎県支部総会を開催して

昭和59年卒 安井千俊

去る令和 7 年 11 月 8 日に宮崎県支部総会を開催し、盛会のうちに終えることができましたので報告させていただきます。会場は例年どおり、宮崎市の有名中華料理「東天閣」で、今年は、やっと20名というささやかな総会となりました。

来賓には、今年 4 月に学長に御就任された村上 賢学長にお越しいただき、午後 5 時から侍ジャパンのキャンプでにぎわう街中をよそに、粛々と開催されました。

定例の事業報告と予算関係報告及び監査報告も滞りなく順調に終わり、私にとって最大の関心事、事務局の交代の発表がありました。私だけでは後任を決めきれずにいたところを、現監事で私の前任者である昭和 55 年卒の西元氏と押川支部長のおかげで無事平成 5 年卒の坂元和樹氏にお願いでき、めでたく今年度いっぱい事務局を卒業できるようになりました。私事になりますが、思えば平成 24 年に事務局の要請があり、「なんで私が？わたしでよいのか？」よくの???だらけのまま引受け、かれこれ 12 年、そして今年の総会翌日にはとうとう 11 月 9 日に 65 歳になりました。早く事務局を変わらなければ、棺桶に両足突っ込むまで解放されないのではないかという焦りと恐怖感にさいなまれながら、昨年度の総会前に、押川支部長に直談判した結果、当座支部長預かりととなり、一年が経過した今回の支部総会で卒業させていただきました。12 年という長きにわたり、よだきんぼの私が事務局という責任ある職務を行えてこれたのも、支部長をはじめとする役員の方々の支えや、温かく支えてくださった支部の会員の皆様、そしてあらゆるエラーを温かく見守っていただいた同窓会事務局の皆様のおかげと思っています。ありがとうございました。支部総会の報告の場をお借りして御礼申し上げます。

さて総会は、人数こそ少数でしたが、今回初めてお越しいただいた、昭和 53 年に短大を卒業された福田和秀氏をはじめ令和 3 卒で応援団だった興梠真望まで、幅広い世代の同窓生が集まり大いに盛り上がりました。

そして、村上学長にも 2 次会までお付き合いいただき、学長が教授時代に学生だった同窓生などと昔話にも花が咲き、ようやく涼しくなった宮崎の夜を十分に堪能させていただきました。

